

# 三 田 最 終 処 分 場 搬 入 の 手 引

平成 23 年 1 月

財団法人 三重県環境保全事業団

廃棄物受入要領	1
廃棄物埋立処分委託申請から受入まで	5
埋立廃棄物審査・処分受託証（様式―1）	6
埋立廃棄物審査・処分委託申請書変更届（様式―2）	7
埋立処分料金決定通知書（様式―3）	8
空車カード	9
産業廃棄物管理票（マニフェスト）	10
三田最終処分場位置図（図―1）	11
搬入経路図（図―2）	12
契約保証金要綱	13

# 廃棄物受入要領

## 1. 最終処分場の場所

財団法人 三重県環境保全事業団（以下「事業団」という。） 三田最終処分場  
四日市市三田町9番地の地先公有水面（図―1 参照）

TEL：059-349-5016 FAX：059-346-6500

## 2. 受入時間、休業日及び一時閉鎖

### (1) 受入時間

9時30分～12時及び13時～16時

### (2) 休業日

イ 土曜日、日曜日、国民の祝祭日（振替休日を含む）

ロ 12月29日～1月3日までの間

### (3) 受入時間、休業日の変更及び一時閉鎖

イ 台風、大雨等気象状況の変化により埋立処分作業に支障をきたす場合

ロ 処分場内の埋立状況、事故、労働災害等による場合

ハ その他、事業団が特に必要と認めた場合

三田最終処分場は海岸保全区域内に設置されており、津波警報、高潮警報が発令されると、管理者である四日市港管理組合により、処分場入り口の防潮堤が閉鎖され入場することが出来ません。その他、大雨や台風の接近時にも防潮堤が閉鎖される場合がありますので、上記のような気象時は事前に事業団（三田最終処分場）にお問い合わせください。

## 3. 利用できる方

(1) 三重県内に産業廃棄物の排出源を有する事業者

(2) その他、特に事業団が認めた者

## 4. 受入対象廃棄物

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第2条第4項及び法施行令第2条に定める産業廃棄物のうち、次の種類とします。『特別管理産業廃棄物』は受け入れできません

燃えがら、汚でい、動植物性残渣（貝殻に限る）、鉋さい、ダスト類、令第13号、廃プラスチック類、ゴムくず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類、金属くず

但し、埋立廃棄物審査会（以下「審査会」という。）の審査を受け、了承されたものに限りま

### <埋立廃棄物審査会>

事業団では、学識経験者及び関連行政機関等の代表によって構成される埋立廃棄物審査会を設け、申請廃棄物の審査を行い、受入の可否を決定しています。

## 5. 受入れ基準

受入れ基準は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守した〔廃棄物共通受入れ基準〕及び〔廃棄物種類別の受入れ基準〕（「埋立廃棄物審査・処分委託申請書記入要領」参照）を適用、また審査会においては〔埋立廃棄物審査会諮問基準〕（「埋立廃棄物審査・処分委託申請書記入要領」参照）を適用します。

## 6. 申請から受入までの手続き

- (1) 「埋立廃棄物審査・処分委託申請書」を提出して頂きます。
- (2) 廃棄物の運搬を委託する場合は運搬業者の処理業許可証の写しを添付してください。  
（自社運搬の場合は不要）
- (3) 事業団より排出事業所に出向して申請廃棄物についての聞き取り等を行い、性状分析及び料率決定のためのサンプルを採取します。但し、下記の廃棄物については出向しませんので、排出事業者からサンプルを持参して下さい。  
なお、性状分析及び料率決定のための測定に係る費用は排出事業者の負担とします。

ガラスくず及び陶磁器くず、鋳物廃砂及びキュボラノロ、廃プラスチック類

- (4) 審査会において申請の内容を検討し、受け入れが適当と認められるときは「埋立廃棄物審査・処分受託証」（様式－１）を発行し、申請廃棄物を受託します。  
※ 公共事業により排出される廃棄物の場合は、契約書の写しと発注者が確認できる書類を添付してください。

## 7. 産業廃棄物埋立処分委託契約の締結

- (1) 審査会の了承を得た排出事業者は、産業廃棄物埋立処分委託契約（以下「契約」という。）の手続きをして下さい。
- (2) 契約の締結後、廃棄物の搬入が可能となります。

## 8. 契約保証金の預託

産業廃棄物埋立処分委託契約締結後 30 日以内に「契約保証金要綱」により契約保証金を納入して下さい。

## 9. 申請及び契約内容の変更

既に提出した申請及び契約の内容に下記の変更が生じる場合は、至急事業団に連絡し、所定（様式－２）の手続きを行ってください。

なお、変更内容により再申請となる場合がありますので必ず事前に連絡して下さい。

- ① 廃棄物の発生工程及び製造原料
- ② 廃棄物の種類、性状、形状
- ③ 搬入量
- ④ 運搬業者及び運搬車輛

- ⑤ 住所、氏名
- ⑥ その他、事業団が届出を必要と判断するもの

## 10. 埋立処分料金及び埋立処分費の請求と支払い

- (1) 埋立処分料金は、別途「産業廃棄物埋立処分料金表」によります。
- (2) 料金の決定は、「産業廃棄物埋立処分料金決定通知書（様式—3）」にて通知します。
- (3) 埋立処分費は月末締め、翌月請求とし事業団の指定する金融機関に、請求のあった日から30日以内に現金でお振込みください。

### ＜料率＞

料率とは、埋立処分の困難な廃棄物に対して基本料金に加算される率であります。

この制度の主旨は、「本来は、排出事業所において廃棄物の減量化、再資源化等のために物性の改良に務めるべきものであるが、廃棄物の発生量・資金力等で自社処理が困難な場合もあり、埋立処分時に労力的作業によって補う」というものです。料率の評価は、環境対策及び処分効率・作業性等の測定によって決定されます。

## 11. 廃棄物の運搬及び搬入時の注意

廃棄物を搬入する際には、次の事項に充分留意して下さい。

- (1) 運搬経路は事業団の指定した道路によるものとし、それ以外の道路の通行を禁じます。（図—2 参照）  
なお、通行禁止区域で短期間に発生する産業廃棄物の運搬経路については事前に協議することとします。
- (2) 運搬車は道路交通法を遵守し、特に塩浜地区、楠町の通行に際しては、地元住民、車輛等に注意を払い安全について万全を期するとともに、守衛所（図—2 参照）から処分場までの道路は制限速度30km/h以下を厳守すること。
- (3) 運搬車は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係法令を遵守し、運搬物あるいは運搬物中の水分等が飛散、流出、または落下しないよう十分な措置を講ずること。
- (4) 搬入する廃棄物は、事前に搬入を認められた廃棄物であること。特に紙くず、布きれ、空缶、ビニール袋等の混入は認めません。
- (5) 運搬車は処分場に午前9時30分以降及び午後1時以降に到着するようにし、処分場周辺道路での時間待ちはしないで下さい。
- (6) 搬入時間の指定をされた場合は、これに従ってください。
- (7) 処分場の受付等は、次の順序で行ってください。

イ 処分場に到着したら、速度を落とし、ゆっくりトラックスケールに上がり受付所前で停止する。

ロ 受付所係員に、空車カードとマニフェスト（B1票～E票（重量欄は空欄））を渡す。

ハ 受付所係員より、空車カードとマニフェストを受け取る。（D票、E票は後日事業団よ

り郵送します。)

ニ ゆっくりとトラックスケールからおり、処分場現場係員の指示に従い、所定の場所で荷降ろしする。

ホ 処分場内の通行は20 km/h 以下の速度であること。

## **1 2. 廃棄物の積載及び積算**

(1) 廃棄物の積載は、原則として単載とします。ただし、鋳物廃砂、キュポラノロの2種類の契約をしている事業所で混載する場合は、推定排出割合を想定して以下のように処理して下さい。

例：推定排出割合が鋳物廃砂 80%、キュポラノロ 20%の場合、搬入回数 5 回のうち 4 回は鋳物廃砂、1 回はキュポラノロとして搬入する。

(2) トラックスケール及びコンピューターシステムの停電時及び故障時は、4 t 車は 4 t、10 t 車は 10 t を積載重量とします。

## **1 3. 受入拒否、搬入一時停止等**

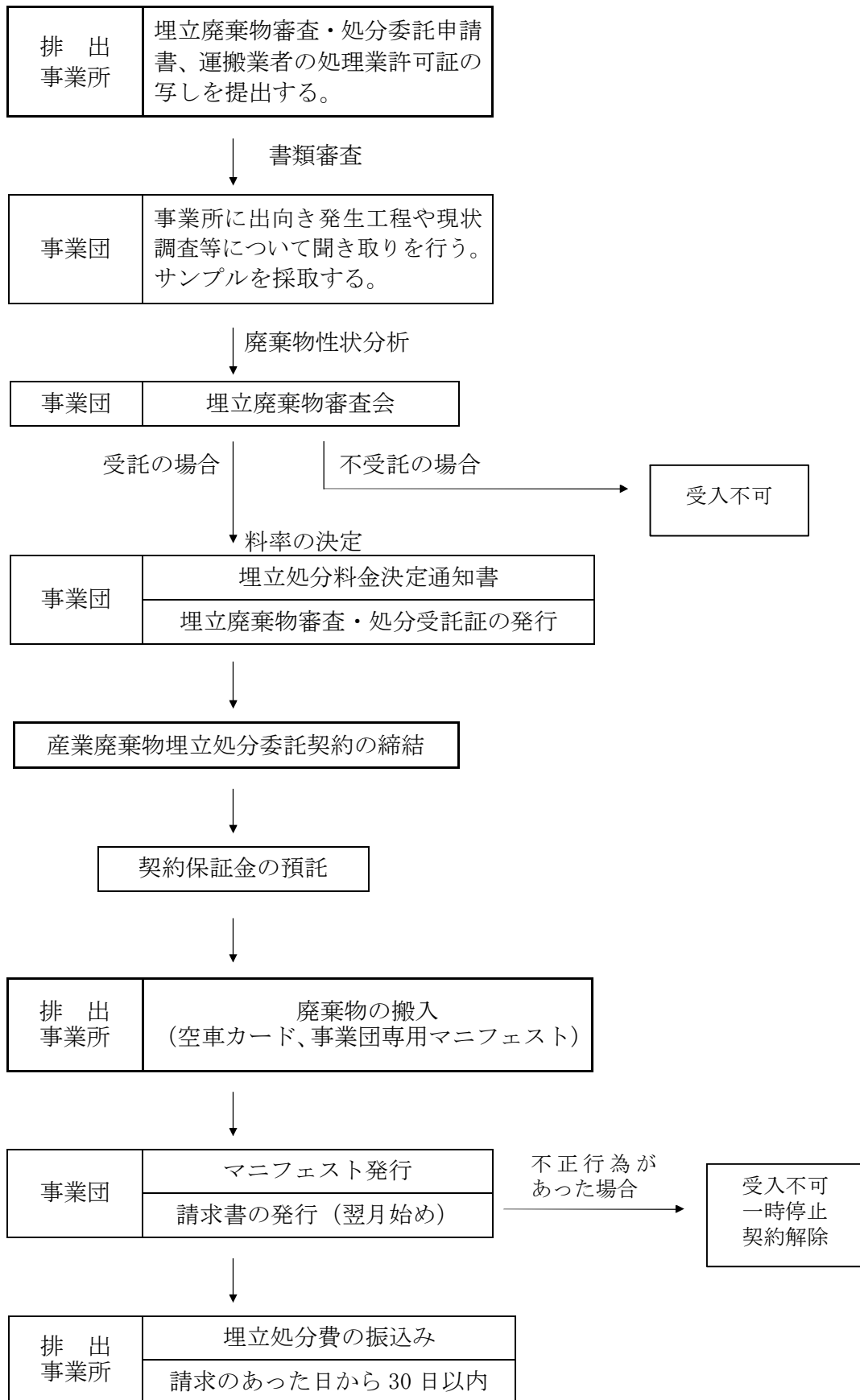
次に掲げる事項に該当する場合、以後の廃棄物の受入拒否、搬入一時停止等の措置を講ずることがあります。

- (1) 契約以外の廃棄物を搬入しようとした場合、もしくは搬入した場合。
- (2) 空車カード、マニフェストの不携帯及び不正が認められたとき。
- (3) 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係法令に違反したとき。
- (4) 「1 1」の各号の一つに違反したとき。
- (5) その他事業団が埋立処分事業の運営に支障があると認めるとき。

## **1 4. その他留意事項**

排出事業者及び運搬業者の不注意、もしくは天災等不可抗力により処分場内で発生した事故について、事業団は一切負いませんので注意して下さい。

## 廃棄物埋立処分委託申請から受入まで



(様式一 1)

年 月 日

## 埋立廃棄物審査・処分受託証

様

年 月 日付で申請のあった廃棄物の埋立廃棄物審査・処分委託について、次のとおり受託します。

財団法人 三重県環境保全事業団

廃 棄 物 番 号		
廃 棄 物 の 種 類 お よ び 名 称	大分類	
	小分類	
	名 称	
審査受託番号	第 号	
利 用 施 設 名		
条 件		
有 効 期 限		



年 月 日

## 財団法人 三重県環境保全事業団

印

		記入者氏名		
廃棄物番号		契約年月日	年	月 日
大 分 類				
小 分 類				
名 称				
変更内容				

受付年月日

(様式—3)

## 産業廃棄物埋立処分料金決定通知書

(平成19年4月1日より適用)

年 月 日

排出事業所名\_\_\_\_\_

財団法人 三重県環境保全事業団

廃棄物の種類及び名称

大分類名\_\_\_\_\_

小分類名\_\_\_\_\_

名 称\_\_\_\_\_

廃棄物番号\_\_\_\_\_

料 率 評 価 指 摘 綱 目			
項 目 名	測 定 結 果	単 位	点 数
合 計 点 数			
加 算 率 ①			

\* 料率指摘評価項目点数及び加算率は、「料率の適用について」による。

比 重 の 測 定 値	
廃 棄 物 別 料 金 ②	円／t
埋立処分料金 [②+ (基本料金×①)]	円／t

\* 廃棄物別料金及び基本料金は、「産業廃棄物埋立処分料金表」による。

## 空 車 カ ー ド

- 1 運搬者は空車カードを作成していただき、受付の際に提示して下さい。これにより廃棄物の重量を計算します。
- 2 空車カードには運搬業者名（排出事業者名）、空車重量（事業団で計量）、車両番号を予め登録しておきます。
- 3 空車カードは小山最終処分場及び三田最終処分場で作成いたします。（無償）



## 産業廃棄物管理票（マニフェスト）

- 1 排出事業は、予め事業団専用の産業廃棄物管理票（マニフェスト）を購入し、必要事項を記入し押印して下さい。
- 2 搬入時に受付で係員に手渡して下さい。
- 3 排出事業者及び収集運搬業者は処分終了後、それぞれ必要な産業廃棄物管理票（マニフェスト）を回収し、5年間保管して下さい。

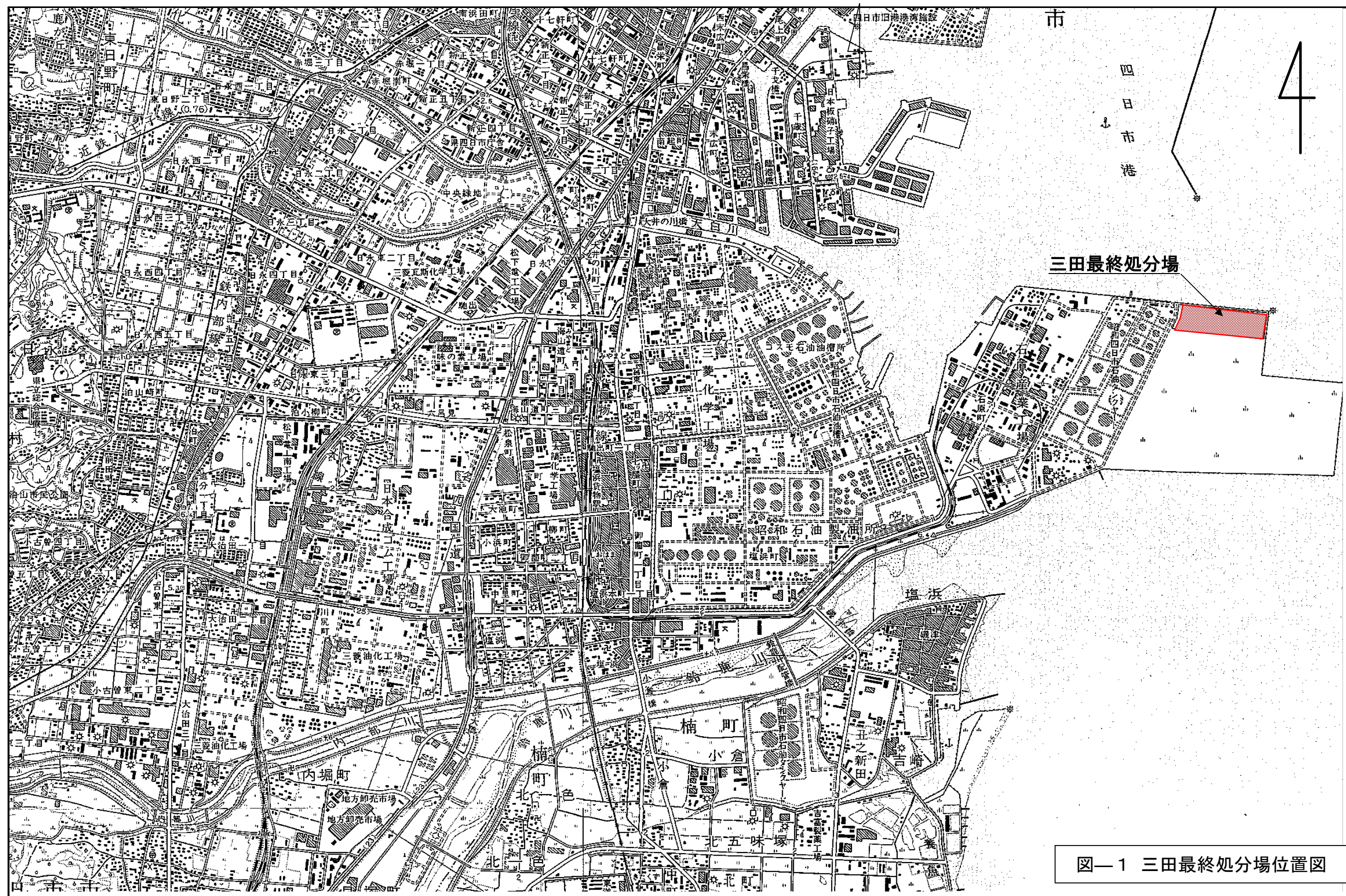
産業廃棄物管理票（マニフェスト） （7枚複写）	A票 （1枚目）排出事業者控 C1票 （2枚目）処分業者保存 B1票 （3枚目）運搬業者控 B2票 （4枚目）運搬業者→排出事業者 C2票 （5枚目）処分業者→運搬業者 D票 （6枚目）処分業者→排出事業者 E票 （7枚目）処分業者→排出事業者
----------------------------	--

産業廃棄物管理票（マニフェスト）A票				
排出者（事業者）	交付年月日	平成 年 月 日	廃棄物番号 (中間処理番号)	交付番号
	排出者（氏名又は名称）		伝票番号	運搬終了報告受領 平成 年 月 日
	住所 〒 - TEL		交付者氏名	処分終了報告受領 平成 年 月 日
	排出事業所（氏名又は名称）		備考：通信欄	管理交付書（処分委託書）の氏名または名称及び管理票の交付番号（登録番号）
産業廃棄物の種類 (特別産業廃棄物以外の産業廃棄物)	産業廃棄物の種類	産業物の名称	荷姿・個数	最終処分・中間処理の場所
	<input type="checkbox"/> 燃えがら <input type="checkbox"/> ガラスくず等* <input type="checkbox"/> がれき類 <input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 紙くず <input type="checkbox"/> 廃プラ(石綿含有) <input type="checkbox"/> 廃プラスチック類 <input type="checkbox"/> ゴムくず <input type="checkbox"/> ガラスくず等*(石綿含有) <input type="checkbox"/> 動植物性残渣 <input type="checkbox"/> タスト類 <input type="checkbox"/> がれき類(石綿含有) <input type="checkbox"/> 金属くず <input type="checkbox"/> 13号産業物	数量・単位 <input type="checkbox"/> m <sup>3</sup> <input type="checkbox"/> ton	<input type="checkbox"/> パラ <input type="checkbox"/> その他 処分方法 <input type="checkbox"/> 破砕（中間処理） <input type="checkbox"/> 管理型埋立処分	<input type="checkbox"/> 委託契約書のとおり
	*ガラスくず等とは、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くずをいう。			
	収集運搬業者	氏名又は名称	運搬業者コード	搬出先の事業所（処分事業所） 氏名又は名称：財団法人三重県環境保全事業団 三田最終処分場（併立処分）TEL.059-349-5018 所在地：四日市市三田町9番地地先 〒510-0841 TEL.059-328-2557 小山リサイクルセンター（南所）TEL.059-328-2557 〒512-1102 四日市市小山町字大谷3258
処分を行った施設	管理型埋立処分	破砕（中間処理）	引受数量	引受署名
	名称：財団法人三重県環境保全事業団 三田最終処分場 所在地：四日市市三田町9番地地先 〒510-0841 TEL.059-349-5018	名称：財団法人三重県環境保全事業団 小山リサイクルセンター 所在地：四日市市小山町字大谷3258 〒512-1102 TEL.059-328-2557	トン	
排出事業者確認用		関係確認	B2票 平成 年 月 日	D票 平成 年 月 日
			E票 平成 年 月 日	

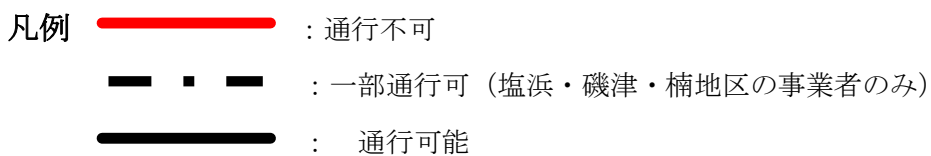
発行元：財団法人三重県環境保全事業団 (盗行用)

## 事業団専用産業廃棄物管理票（マニフェスト）





図—1 三田最終処分場位置図



- 12 -



# 契 約 保 証 金 要 綱

産業廃棄物埋立処分契約の条項第 16 条に規定する契約保証金について、次のとおり定める。

## 1.（目 的）

契約保証金（以下「保証金」という。）は、財団法人 三重県環境保全事業団（以下事業団）という。）廃棄物埋立処分事業を適正かつ円滑に推進するために排出事業者から産業廃棄物埋立処分委託契約締結期間中、預託を受けるものである。

## 2.（金額と払い込み方法等）

保証金額は、契約する産業廃棄物の総年間予定搬入量に応じた額とし、別表「契約保証金表」によるものとする。

払い込み方法は、初回の契約時に、契約するすべての廃棄物の年間予定搬入量を合計し、この量に該当する金額を契約締結の日から 30 日以内に、事業団の指定する方法により払い込むものとする。

## 3.（契約保証金の追加等）

新たな廃棄物を追加契約し、増加した搬入量によって保証金が増額となる場合は、追加契約締結の日から 30 日以内にその差額を払い込むものとする。

また、実績搬入量が予定搬入量を上回り、契約当初の保証金が不相当となった場合は、その差額を払い込むものとする。

## 4.（契約保証金の減額）

契約締結時の予定搬入量より実績搬入量が減少した場合の差額の返還については、排出事業者から埋立廃棄物審査・処分委託申請書変更届により、契約保証金減額申請があれば、その日から 60 日以内に差額を返還する。

## 5.（延滞埋立処分費等への充当等）

排出事業者が、契約第 4 条の埋立処分費の支払いを怠ったとき、または契約の条項第 10 条の損害賠償金を支払わなかったとき等に、保証金をもってその債務の金額あるいは一部の弁済に充当することができる。

## 6.（契約の解除）

事業団は、排出事業者が規定の払い込み期限を経過しても保証金の支払いをしない場合は、契約の条項第 14 条の規定に基づき契約を解除することができる。

## 7. (契約保証金の返還)

事業団は、埋立処分契約を解除したとき、もしくは契約が完了したときは、その日から 60 日以内に保証金を変換するものとする。ただし、預託期間中の利息はつけない。

また、埋立処分費あるいは契約の条項第 10 条の損害賠償金等の未納があるときは、これらを差し引いてその金額を返還する。

## 8. (契約保証金の免除)

排出事業者が国もしくは地方公共団体またはこれらに準ずる公益団体で理事長が認めた者は、保証金を免除する。

2 建設工事から発生する建設系廃棄物に係る契約の場合はこれを免除することができる。

ただし、この場合発注者と請負業者の締結した工事契約書及び工事仕様書の写しを提出するものとする。

### 附 則

この要綱は平成 5 年 6 月 1 日から施行する。

この要綱は平成 10 年 9 月 1 日から施行する。(一部改正)

この要綱は平成 19 年 6 月 1 日から施行する。(一部改正)

### 別 表

契 約 保 証 金 表

予 定 搬 入 量 (年間)		保 証 金 (円)
100,000 t 以上		20,000,000
10,000 t 以上	100,000 t 未満	10,000,000
5,000 t 以上	10,000 t 未満	8,000,000
3,000 t 以上	5,000 t 未満	6,000,000
1,000 t 以上	3,000 t 未満	3,000,000
500 t 以上	1,000 t 未満	1,000,000
100 t 以上	500 t 未満	300,000
	100 t 未満	50,000